第６回「第２期県立高校将来構想検討協議会」の協議の概要について

１　開催日

平成２７年２月１８日（水）

２　協議の概要

パブリックコメントの概要と「第２期県立高校将来構想（案)」について

○　パブリックコメントの概要を報告し、寄せられた意見に対する県の考え方を示して協議

○　パブリックコメントにおける意見を踏まえて、第２期県立高校将来構想の素案に修正を加えた（案）の検討材料を提示して協議

⇒　（案）の検討材料については、概ね了解を得られた。

⇒　「第２期県立高校将来構想」の最終案については、本日の意見も踏まえて、県教委事務局でまとめることが承認された。

３　今後のスケジュール

３月上旬	県議会(文教警察委員会)	「第２期県立高校将来構想」の案を示して協議
３月下旬	教育委員会会議	「第２期県立高校将来構想」を策定・公表

【参考】検討協議会における主な意見

○　パブリックコメントに寄せられたそれぞれの意見に対して、ポイントを押さえ、県の考え方が適切に示されている。

○　私立高校との協働については、公私が連携して取り組むことがわかるよう、県の考え方を修正すべきではないか。

○　全県的なバランスを考慮しながら特色づくりを進めることとしており、特色づくりが学校間格差につながることはない。

○　学校規模の拡大は必要と思うが、拡大後も、少人数指導など、きめ細かな指導を充実すべきである。

○　「小規模校はなぜ悪いのか」という声を聞くが、この将来構想は、望ましい学校規模について適切な考え方を示しており、その趣旨をしっかり説明していくことが重要である。

○　この将来構想の推進に当たっては、常にＰＤＣＡを回しながら進めていくことが重要である。

○　「その他の意見」への対応として、実施計画の策定に当たっては、その目的をしっかり説明しながら進めるべきである。

○　学校存続が理想と考えるが、生徒減少という現実的な課題への対応として、再編整備は避けて通れないことを認識した。